

2016年(平成28年)

10月19日号 №264

年7回(4・6・8・10・12・1・2月)発行

発行 市川市消防局

〒272-0021 市川市八幡1丁目8番1号
TEL 047-333-2111(代) FAX 047-333-8181

ホームページ <http://www.city.ichikawa.lg.jp/>

※右のQRコードから消防局のホームページへ直接アクセスできます。

こちら

119



消防テレホンガイド

☎ (333) 3636

火災・地震・気象など各種情報をお伝えします

火災・救急件数(9月末日現在)

◆火災 60件【前年比 -17件】
◆救急 16,413件【前年比 -85件】

私たちのまちを守る消防団



消防団は市町村の消防機関の一つで、普段はそれぞれ仕事を持ちながら「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神に基づき、地域住民の安全と安心のため、自らの意思で参加した住民有志による組織で身分は非常勤の地方公務員となります。

現在、市内には地域ごとに23箇所の消防団詰所があり、女性を含め334人の消防団員が地域の防災リーダーとして活躍しています。その活動内容は、火災時の消火活動や救助活動をはじめ、防災活動や避難誘導のほか、平常時における防火防犯パトロールや歳末の夜間警備、お祭りや催し物の際の警備など、その活動は多岐にわたり、地元の防災リーダーとして地域防災力の中核的な存在として活躍しています。

また、女性消防団員は、女性ならではの視線とソフトな面を活かして応急手当の普及指導をはじめ、高齢者宅への住宅防火訪問や保育園・幼稚園での防火教室等、様々な広報活動に参加するなど、幅広い活動を行っています。近年、南海トラフ地震や首都直下地震などの大規模地震の発生が危惧される中、「要員動員力、即時対応力、地域密着性」を有する消防団は地域住民の安全・安心を確保するためにきわめて大きな存在になっています。

平成27年中ににおける市川市消防団の出動状況等は、火災・警戒・訓練等の合計で1019回、延べ8196人の消防団が活動を行っています。

消防団員の補償や待遇

- 消防団員は非常勤の地方公務員で階級に応じた報酬が支払われるほか、活動に対して手当が支給されます。
- 活動に必要な制服や活動服などが貸与されます。
- 活動によりけがなどをした場合、条例に基づき、本人又は遺族に対しての補償があります。
- 消防団員の士気の高揚と、その苦労に報いるため、表彰制度が設けられています。
- 一定期間消防団員として活動すると退職報償金などが支給されます。



消防団員 募集中!

【問い合わせ】 応募資格

消防局
警防課 市民防災担当
（音声ガイドナンス3番
警防課）

Tel 333-2111
平日の9時から17時

市川市内居住または在勤で、18歳以上の志操堅固で、かつ、身体強健である方なら、男女問わずに入団することができます。

近年、消防団員の高齢化や消防団員数の減少が大きな問題となっています。最近は全国に200万人いたといふ消防団員が、平成28年には約86万人にまで減少しており、市川市においても同様に減少傾向にあります。消防団は、左記、応募資格をみたせば誰にでも入団できる非常勤の公務員です。会社員の方、自営業の方、主婦の方、学生の方など、性別・職業を問わず様々な方が活躍しています。大切な家族や友人を守り、さらには地域防災力向上のために、あなたの力が市川市の消防団には必要です。



局長の

消防紹介



みなさま、こんにちは。

消防局長の高橋文夫です。

このコーナーは、少しでも消防について知つてもらうためのものです。

今回は、市川市消防音楽隊について、ご紹介します。

消防音楽隊は、昭和27年5月13日に結成され、平成28年で発足64周年を迎えます。

今日まで音楽隊の活動がおこなわれていることは、これもひとえに市民の皆様に親しみ愛され、ご支援していただいた賜物であると深く感謝しております。

消防音楽隊は、消防の諸行事や公共団体等の主催する行事などに幅広く出演し、演奏を通じて市民の方々と触れ合い、市民の防火意識の高揚をはじめ防火知識の普及と啓発を図り、消防に対する認識を深めていただくことを目的に、消防広報活動に努めています。

現在、消防音楽隊は26名(うち女性消防官3名)の隊員で編成され、日々、目標達成のために勤務のかたわら演奏技術の向上をめざし練習に励んでおり、平成27年中は42回の出演がありました。

これからも安全で快適な魅力あるまちを目指して、行政と市民の皆様の架け橋として発展していくことを願いつつ、消防音楽隊は更なる活動に努めてまいります。

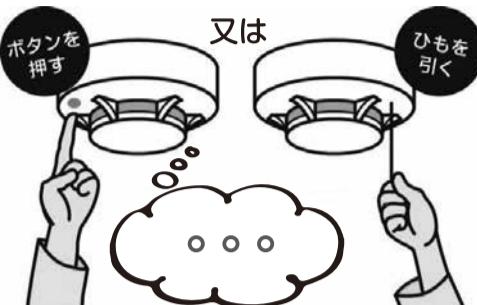


平成28年度全国統一防火標語「消しましょう その火その時 その場所で」

ボタンを押す、またはひもを引いて作動点検

音が鳴らない場合は?

電池がきちんとセットされて
いるか、ご確認ください!!

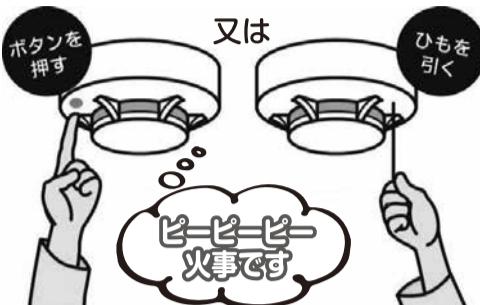


問い合わせ 消防局 予防課 指導担当
(音声ガイダンス①番)
TEL 333-2111

それでも鳴らない場合は、「電池
切れ」か「機器本体の故障」です。
取扱説明書をご覧ください。

正常の場合は?

正常をお知らせするメッセージ
または警報音がなります。



注)警報音はメーカーや
製品により異なります。

全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務化され
てから8年が経過しました。本体及び電池の寿命
は、約10年とされていますので、10年を経過しました
ら本体の交換をお勧めします。

万が一に備え正常に作動するか、定期的に作動
点検を行いましょう。

住宅用火災警報器 の維持管理について



共同指令センター(北西部ブロック第2期整備)の運用に向けて

市川市では、平成25年4月から6市共同により、松戸市の共同指令センターで119番通報を受信しています。平成32年度からは、現在の6市(松戸市、市川市、流山市、野田市、鎌ヶ谷市、浦安市)に加え習志野市、八千代市、柏市、我孫子市の4市が加わり、計10市が共同で行う予定です。そのため、平成28年8月1日に「松戸市ほか9市消防指令事務協議会」を設置しました。

119番通報の方法はこれまでと変わらず、「共同指令センター」で一括受信し、消防車、救急車などの出動も従来同様に各市の消防署から出動するよう、各市と協議中です。

この共同指令センターは10市から職員が派遣され運用することとなり、最新の消防指令管制システム導入に加え、10市分の災害情報が集約及び共有されることから、より柔軟な災害対応が可能になるため、市民の皆様からの119番通報にスムーズに対応することを目指しています。



119番通報は落ち着いて正確に



【市川市長表彰】
市川市立大和田小学校
とくだななみ
徳田七海さん(2年生)



【市川市長表彰】
市川市立新井小学校
手塚大翔さん(6年生)



6. 申し込み先
消防局 救急課
(音声ガイダンス②番)
TEL 333-2111

*電話にて受付を行います。
※受付時間(平日9時から17時)
に対する応急手当講習は
11月21日(月)より

5. 申込み方法
10月開催の普通救命講習は
11月9月26日(月)より
12月開催の上級救命講習は
11月7日(月)より
市川市消防局5階ホール

4. 定員
各日程とも30名

③外傷に対する応急手当講習
(止血の方法・けがや骨折をした場合の応急手当の方法)
9月12日(土) 11月13日(日) 11月29日(火)
9時から17時 9時から12時

【会場】
平成28年11月9日(水)
から11月15日(火)
9時から22時

【日時】
平成28年11月9日(水)
から11月15日(火)
9時から22時

【会場】
平成28年11月9日(水)
から11月15日(火)
9時から22時

【日時】
10月25日(火)・12月8日(木)
9時から12時
12月14日(水)・12月18日(日)
9時から12時

1. 受講内容及び日程
(10月25日から12月21日開催分)
①普通救命講習
(成人に対する自動体外式除
動器を使用した心肺蘇生法及び異
物除去法)
②上級救命講習
(成人・小児・乳児に対する自動
体外式除細動器を使用した心肺蘇
生法及び異物除去法・三角巾の使
用法・筆記試験)

2. 受講対象者
市内在住または在学、在勤で
中学生以上の方
「救える命」がそこにある
救命講習会のご案内

11月9日から15日まで
秋の全国火災予防運動が
実施されます!

緊急消防援助隊の訓練は、全国を6ブ
ロックに分け平成8年より毎年開催され
ているもので、近年の多種多様化する大規
模災害や自然災害時における緊急消防援
助隊の技術及び連携活動の能力向上を図
ることを目的として実施しています。

火災予防絵画展を開催します!!

消防局では「火災予防絵
画展」を毎年11月の秋の全
国火災予防運動期間中に
開催しています。

市内の小学校生徒を対
象に①住宅用火災警報器
②火災予防③放火防止対
策をテーマに募集をした
ところ、市内37校より535点
の応募がありました。

絵画展では、上位82作品
を展示しますのでみなさ
まぞひ見に来てください。

冬に近づくにつれ、空気が乾燥
して火災が発生しやすい時期に
なります。このことから火災予防を目的
とし、全国一斉に秋の火災予防運動
が実施されます。

住宅火災は、一人一人の心がけ
で防ぐことができます。火災から
尊い命、大切な財産を守るために、
火災予防に対する意識を高め、火
災を未然に防ぎましょう。

また、例年の主な出火原因につ
いては、全国の統計で「放火・放火
の疑い」「たばこ」「こんろ」
が上位を占めています。

下型地震が発生し那須岳では水蒸気爆発
が発生するとともにその影響により多く
の登山者が負傷、その後さらに、栃木県南
部を震源とする震度6強の直下型地震が
発生し、同県南部の市町で甚大な被害が発
生したとの想定により訓練が行われ、千葉
県緊急消防援助隊として市川市消防局か
らも救急隊と後方支援隊が参加しました。